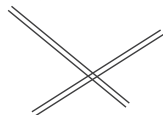


# 圓教寺



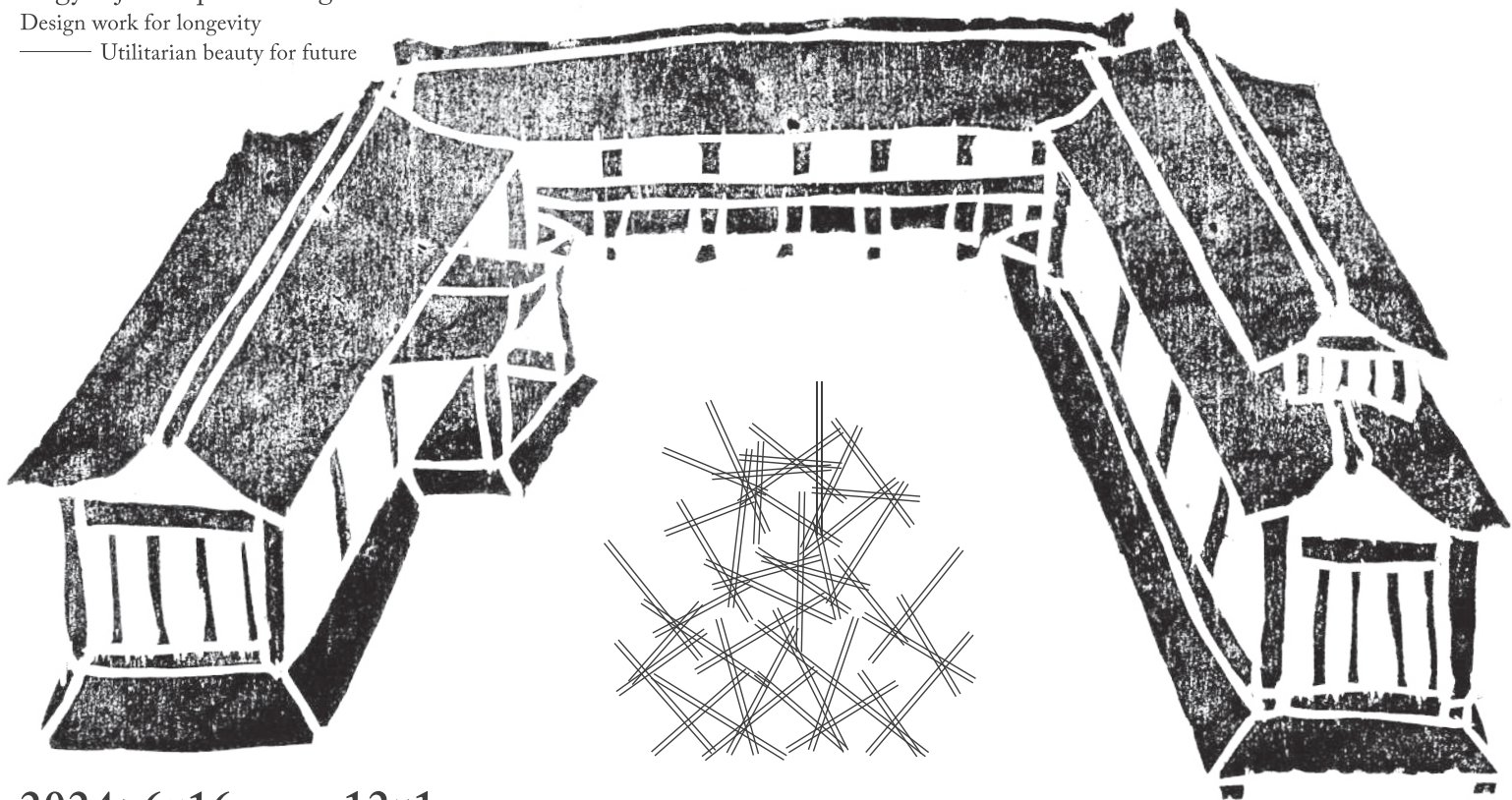
# 隈研吾

生き延びるための  
デザインワーク  
— これからの用の美

Engyouji Temple × Kengo Kuma

Design work for longevity

— Utilitarian beauty for future



2024年6月16日(日) — 12月1日(日)

Jun.16(Sun)-Dec.1(Sun), 2024

書寫山圓教寺 三之堂前広場

Shoshazan Engyoji Temple

ワークショップ  
Work shop 2024年4月20日(土) — 6月15日(土)

開場時間：10時 - 15時 45分

休場日：会期中無休（天候により中止になる場合があります）

会場：書寫山圓教寺（兵庫県姫路市書写 2968）

入場料：無料 ＊別途志納金が必要です

主催：書寫山圓教寺、姫路市立美術館

問い合わせ：姫路市立美術館 079-222-2288

書寫山圓教寺 079-266-3327

Opening hours : 10:00 - 15:45

Closed day : Open every day during the exhibition period (may close in case of inclement weather)

Venue : Shoshazan Engyoji Temple 2968 Shosha, Himeji, Hyogo

Admission : Free ＊A separate offering will be required

Contact : Himeji City Museum of Art 079-222-2288

Shoshazan Engyoji Temple 079-266-3327

協力 隈研吾建築都市設計事務所、明珍本舗、東京大学 総括プロジェクト機構  
SEKISUI HOUSE - KUMA LAB、日本女子大学 建築デザイン学部 江尻憲泰研  
究室、姫路市教育委員会事務局

後援 朝日新聞姫路支局、神戸新聞社、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、  
播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM 21、毎日新  
聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西(50音順)

\*ワークショップの最新情報、申込方法、申込締切は、  
姫路市立美術館HPのイベントページでご確認下さい。

## 1 ストローでミニパビリオンをつくろう！

隈研吾が三之堂前広場で公開するパビリオン「くぎくも」  
をテーマに、ストローを使ってオリジナルのミニパビリオン  
を制作します。

2024年4月20日(土) 14:00 - 16:00

場所：書写の里美術工芸館 交流庵  
講師：東京大学+日本女子大学プロジェクトチーム

2024年5月18日(土) 14:00 - 15:30

場所：姫路市立美術館 2階講堂  
講師：東京大学+日本女子大学プロジェクトチーム

参加費：無料

定員：いずれの回も15名(申込多数の場合は抽選)

対象：小学生以上

## 2 はづき茶屋プロジェクト 書寫山山主と巡る圓教寺さんぽ

圓教寺には、開基・性空上人と和泉式部の出会いを和歌が  
取り持ったという伝説があり、「はづき茶屋」の名は、この時  
の和泉式部の歌の一節に由来します。はづき茶屋を出発点とし、  
山主と美術館学芸員と一緒に圓教寺を散歩しませんか。

2024年4月28日(土) 5月25日(土) 10:00 - 11:45

講師：大樹 玄承(圓教寺長吏)  
紅林 優輝子(姫路市立美術館学芸員)

場所：書寫山圓教寺  
集合場所：はづき茶屋前

参加費：無料(別途、志納金も必要です。)

定員：いずれの回も10名程度(申込多数の場合は抽選)

## 3 書寫山圓教寺文化財ツアー

文化財の専門家と一緒に圓教寺の史跡や建築を見学し、  
圓教寺の魅力を深掘りしましょう！

2024年6月1日(土) 9:30 - 12:00

史跡を巡るツアー

2024年6月8日(土) 9:30 - 12:00

建築を巡るツアー

講師：大樹 玄承(圓教寺長吏)  
中川 猛(姫路市文化財課職員)  
福田 剛史(姫路市文化財課職員)

場所：書寫山圓教寺 境内(集合：志納所前)

参加費：無料(別途、志納金が必要です)

定員：いずれの回も15名(申込多数の場合は抽選)

## 4 明珍工房とまちあるきツアー

姫路城の修復に使う和釘の製作などにも携わっておられる鍛  
冶師の明珍氏の工房を見学し、周辺の野里地区を探索します。

2024年5月11日(土) 14:00 - 15:30

講師：明珍宗敬氏(明珍家第53代当主、鍛冶師)  
集合：姫路市立美術館

参加費：無料

定員：10名(申込多数の場合は抽選)

## 5 パビリオン「くぎくも」解説つき公開制作

圓教寺の三之堂と摩尼殿に触発された隈研吾が生み出す  
「くぎくも」。この作品が出来上がっていく様子を、制作スタッ  
フによる解説を聞きながら間近で見学してみませんか。

2024年6月15日(土) 14:00 - 15:00

講師：東京大学+日本女子大学プロジェクトチーム  
集合場所：書寫山圓教寺 三之堂前広場

参加費：無料(別途、志納金が必要です)

事前申込不要

# 圓教寺 隈研吾

生き延びるための  
デザインワーク  
— これからの用の美

Engyōji Temple × Kengo Kuma  
Design work for longevity  
— Utilitarian beauty for future

「西の比叡山」とも称される書寫山圓教寺。

この名刹を代表する「三之堂」と「摩尼殿」に触発された  
世界的建築家・隈研吾が、パビリオン《くぎくも》を制作・  
展示します。さらに、圓教寺の開基・性空上人と和泉式部  
の出会いの逸話をもつ「はづき茶屋」が、人々の憩いの場  
としていっそう親しまれるための将来像も描かれます。  
隈は、粒子や細胞のように小さな単位が集まったり離れた  
りすることで得られる生物的な「流れ」や「しなやかさ」を、  
大切なテーマのひとつにしています。《くぎくも》は、「散逸  
構造」と呼ばれる化学理論を手掛かりに、こうした考えを  
視覚化しています。

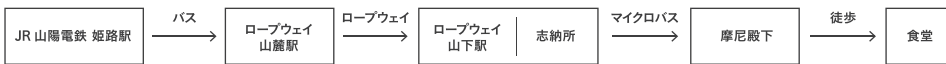
1,000年を超えて守り育まれてきた圓教寺の偉大な歴史  
と遺産。それらとの対話を通じて隈が示す建築の未来は、  
我々が現在を生きるための多くの気づきを与えてくれるで  
しょう。

Shoshazan Engyōji Temple is known in Japan as "Mt. Hiei of the West." Drawing inspiration from two of the temple's most exemplary sites, the Maniden and the three halls of the Mitsunodō, world-renowned architect Kengo Kuma will design and exhibit a pavilion called "Kugikumō" (Cloud of Nails). The exhibition also offers a future vision of Hazuki Teahouse, the location of the legendary meeting between the temple's founder Shokū Shōnin and poet Izumi Shikibu, to enhance its popularity as a site for relaxation and contemplation. Kuma regards the biological concepts of "flow" and "flexibility," obtained through the gathering and dispersal of tiny units like particles and cells, as important themes in his work. "Kugikumō" visualizes these concepts by taking cues from a chemical theory called "dissipative structures." For more than 1,000 years, Engyōji Temple has cultivated and preserved a remarkable history and heritage. Through dialogue with these legacies, Kuma's vision for the future of architecture will undoubtedly provide new insights to help us to navigate our present lives.

### アクセス / Access

〒671-2201 兵庫県姫路市書写 2968

2968 Shosha, Himeji, Hyogo 671-2201



#### ■ ロープウェイ山麓駅まで

JR 山陽電鉄 姫路駅バスターミナル⑩乗場から神姫バス  
「書写山ロープウェイ行」で終点下車

#### ■ ロープウェイ山麓駅から

山上駅下車

\*8:30より毎時00分・15分・30分・45分出発志納所から

マイクロバスで「摩尼殿下」下車

\*マイクロバスは特別志納金500円で往復ご乗車いただけます

\*志納所から「摩尼殿下」までは徒歩でも移動できます

#### ■ 「摩尼殿下」から

三之堂まで徒歩

#### ■ Getting to Sanroku St. (Ropeway)

Take the Shinkai Bus headed for Shoshazan Ropeway (last stop) departing from Bus Terminal 10 at JR/Sanyo Electric Railway Himeji Station

#### ■ From Sanroku St. (Ropeway)

Get off at Sanjo Station. Transfer to the minibus departing from the Shinosho (reception), and get off at Maniden-shita

\*The ropeway departs every 15 minutes from 8:30

\*The minibus ride (return-trip) is included in the 500 JPY

temple entrance fee

\*You can also walk to the Maniden from the Shinosho

#### ■ From Maniden-shita

10-min walk to mitsu-no-do

### 問い合わせ / Contact

姫路市立美術館 / Himeji City Museum of Art : 079-222-2288

書寫山圓教寺 / Shoshazan Engyōji Temple : 079-266-3327



隈研吾建築都市  
設計事務所 HP



姫路市立美術館 HP

### その他のご案内

【姫路市書写の里・美術工芸館】

夏季特別展「夏休み子どもミュージアム-江藤雄造さんと漆であそぼう-」

2024年7月6日(土) - 9月1日(日)

姫路市書写の里・美術工芸館 Tel 079-267-0301

【姫路文学館】

特別展「画業50年のあゆみ 黒井健絵本原画展」

2024年7月6日(土) - 9月1日(日)

姫路文学館 Tel 079-293-8228

天台宗別格本山 西国二十七番札所

書寫山圓教寺

姫路市立美術館

オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト  
All Himeji Arts & Life Project



神姫バス

「しろのまちめぐり 2DAY きっぷ」を発売中!

姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得にめぐれるセット券。

詳細はホームページでご確認ください。



山陽電車

直通特急で阪神神戸三宮・阪神大阪梅田から山陽姫路まで

乗り換えいらず! 自由自在に利用できる、1DAY チケットを

発売中! 詳細はホームページでご確認ください。